

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月3日(2006.8.3)

【公表番号】特表2006-508038(P2006-508038A)

【公表日】平成18年3月9日(2006.3.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-010

【出願番号】特願2004-514864(P2004-514864)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/24 (2006.01)
A 6 1 K 8/00 (2006.01)
A 6 1 Q 5/02 (2006.01)
A 6 1 K 9/12 (2006.01)
A 6 1 K 9/50 (2006.01)
A 6 1 K 47/06 (2006.01)
A 6 1 K 47/10 (2006.01)
A 6 1 K 47/12 (2006.01)
A 6 1 K 47/18 (2006.01)
A 6 1 K 47/30 (2006.01)
A 6 1 K 47/46 (2006.01)
A 6 1 P 1/14 (2006.01)
A 6 1 P 3/00 (2006.01)
A 6 1 P 5/00 (2006.01)
A 6 1 P 5/10 (2006.01)
A 6 1 P 5/16 (2006.01)
A 6 1 P 5/24 (2006.01)
A 6 1 P 7/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/18 (2006.01)
A 6 1 P 25/22 (2006.01)
A 6 1 P 25/26 (2006.01)
A 6 1 P 37/00 (2006.01)
A 6 1 K 31/20 (2006.01)
A 6 1 K 31/201 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/24
A 6 1 K 7/075
A 6 1 K 9/12
A 6 1 K 9/50
A 6 1 K 47/06
A 6 1 K 47/10
A 6 1 K 47/12
A 6 1 K 47/18
A 6 1 K 47/30
A 6 1 K 47/46
A 6 1 P 1/14
A 6 1 P 3/00
A 6 1 P 5/00
A 6 1 P 5/10
A 6 1 P 5/16
A 6 1 P 5/24

A 6 1 P 7/00
A 6 1 P 25/18
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 25/26
A 6 1 P 37/00
A 6 1 K 31/20
A 6 1 K 31/201

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月16日(2006.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

鳥類の尾腺の周囲に由来する鳥類宥和フェロモンを含む組成物。

【請求項2】

該組成物が、ラウリン酸、パルミチン酸、リノール酸及びオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の1種類以上と、その誘導体の1種類以上、及び/又はその異性体の1種類以上との混合物を含む鳥類宥和フェロモンを含む請求項1記載の組成物。

【請求項3】

該組成物が、約12.3～13.7重量%のラウリン酸、約38.0～42.0重量%のパルミチン酸、約32.3～35.7重量%のリノール酸及び約12.0～14.0重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の1種類以上と、その誘導体の1種類以上及び/又はその異性体の1種類以上との混合物を含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

該誘導体が、ラウリン酸、パルミチン酸、リノール酸及びオレイン酸の、エステル、塩、アルコール、ケトン、エーテル、アルデヒド、ステロール及びアミドである、請求項2又は3記載の組成物。

【請求項5】

無害な充填剤又は固体賦形剤を更に含む、請求項2記載の組成物。

【請求項6】

該無害な充填剤が、脂肪酸、アルコール、アミン、スクアレン及びグリセリンの群から選ばれる、請求項5記載の組成物。

【請求項7】

ラウリン酸、パルミチン酸、リノール酸及びオレイン酸、並びにその誘導体を含む鳥類宥和フェロモンと、溶媒とを含む溶液。

【請求項8】

該溶液が、約12.3～13.7重量%のラウリン酸、約38.0～42.0重量%のパルミチン酸、約32.3～35.7重量%のリノール酸、及び約12.0～14.0重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の1種類以上と、その誘導体の1種類以上、及び/又はその異性体の1種類以上との混合物も含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項7記載の溶液。

【請求項9】

該溶媒が、アルコール及びプロピレングリコールである、請求項7又は8記載の溶液。

【請求項10】

該溶液が、スプレー、シャンプー、エアゾルの形態をなすか、或いはマイクロカプセルに封入されているか、又は徐放性基質、重合体、若しくは拡散装置内に存在する、請求項 9 記載の溶液。

【請求項 11】

該拡散装置が、電気的拡散装置である、請求項 10 記載の溶液。

【請求項 12】

鳥類のストレスを処置する方法であって、そのような処置を必要とする鳥類に、鳥類の尾腺の周囲の分泌物に由来する、鳥類宥和フェロモンを含む組成物を投与することを含む方法。

【請求項 13】

該分泌物が、約 12.3 ~ 13.7 重量%のラウリン酸、約 38.0 ~ 42.0 重量%のバルミチン酸、約 32.3 ~ 35.7 重量%のリノール酸、及び約 12.0 ~ 14.0 重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の 1 種類以上と、その誘導体の 1 種類以上、及び/又はその異性体の 1 種類以上との混合物も含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項 12 記載の方法。

【請求項 14】

該組成物が、溶液であり、該溶液を、壁面にか、又は鳥類の羽毛若しくは皮膚にか、又は空気中若しくは玩具に適用することによってそれを投与する、請求項 12 又は 13 記載の方法。

【請求項 15】

鳥類の体重喪失を処置する方法であって、そのような処置を必要とする鳥類に、鳥類の尾腺の周囲の分泌物に由来する、鳥類宥和フェロモン性組成物を投与することを含む方法。

【請求項 16】

該分泌物が、約 12.3 ~ 13.7 重量%のラウリン酸、約 38.0 ~ 42.0 重量%のバルミチン酸、約 32.3 ~ 35.7 重量%のリノール酸及び約 12.0 ~ 14.0 重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の 1 種類以上と、その誘導体の 1 種類以上、及び/又はその異性体の 1 種類以上との混合物も含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項 15 記載の方法。

【請求項 17】

該組成物が、溶液であり、該溶液を、壁面にか、又は鳥類の羽毛若しくは皮膚にか、又は空気中若しくは玩具に適用することによってそれを投与する、請求項 15 又は 16 記載の方法。

【請求項 18】

家禽を輸送の際にその不安を除去するよう処置する方法であって、そのような処置を必要とする鳥類に、鳥類の尾腺の周囲の分泌物に由来する、鳥類宥和フェロモン性組成物を投与することを含む方法。

【請求項 19】

該分泌物が、約 12.3 ~ 13.7 重量%のラウリン酸、約 38.0 ~ 42.0 重量%のバルミチン酸、約 32.3 ~ 35.7 重量%のリノール酸、及び約 12.0 ~ 14.0 重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の 1 種類以上と、その誘導体の 1 種類以上、及び/又はその異性体の 1 種類以上との混合物も含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項 18 記載の方法。

【請求項 20】

該組成物が、溶液であり、該溶液を、壁面にか、又は鳥類の羽毛若しくは皮膚にか、又は空気中若しくは玩具に適用することによってそれを投与する、請求項 18 又は 19 記載の方法。

【請求項 21】

鳥類における飼料変換を改良する方法であって、そのような処置を必要とする鳥類に、鳥類の尾腺の周囲の分泌物に由来する、鳥類宥和フェロモン性組成物を投与することを含む方法。

む方法。

【請求項 2 2】

該分泌物が、約 1 2 . 3 ~ 1 3 . 7 重量%のラウリン酸、約 3 8 . 0 ~ 4 2 . 0 重量%のパルミチン酸、約 3 2 . 3 ~ 3 5 . 7 重量%のリノール酸及び約 1 2 . 0 ~ 1 4 . 0 重量%のオレイン酸、及び/又はその誘導体及び/又はその異性体を含む、その外これらの脂肪酸の 1 種類以上と、その誘導体の 1 種類以上、及び/又はその異性体の 1 種類以上との混合物も含む鳥類宥和フェロモンを含む、請求項 2 1 記載の方法。

【請求項 2 3】

該組成物が、溶液であり、該溶液を、壁面にか、又は鳥類の羽毛若しくは皮膚にか、又は空气中若しくは玩具に適用することによってそれを投与する、請求項 2 1 又は 2 2 記載の方法。